



寄居ロータリークラブ 会報

YORII ROTARY CLUB

R.I.会長
シェカール・メータ
第2570地区ガバナー
水村 雅司
第4グループガバナー補佐
高丹 秀篤



専任しよう みんなの人生を豊かにするために

令和4年5月25日(水)

会場 料亭 園

第2658回例会

司会 式典 山口正彦

点鐘 赤坂 匠康会長 (12:30)

ソング 君が代、奉仕の理想

創立55周年記念例会

開会の挨拶

佐橋正行総務運営委員長

皆さん、こんばんは。本日、寄居ロータリークラブ創立55周年記念ということで、大勢の皆さんにご出席をいただきまして、本当にありがとうございます。寄居ロータリークラブは5月24日に55周年を迎えました。これもひとえに寄居ロータリークラブの会員、そしてご家族のご支援、ご協力のおかげだと思えます。寄居ロータリークラブは創立時29名の会員で発足いたしました。それが、だんだんと会員も増えて60名を越すほどのクラブになりました。それから、いろいろ経済的な不況などがありまして、会員もだんだんと減少してまいりまして、創立時の29名という会員数以下になってしまったこともあります。最小的には23名までの人数になってしまいました。それから、ここ数年間は会員増強に力を入れまして、現在は32名という会員数になりました。ここ3年ほどはコロナ禍により、緊急事態宣言や蔓延防止措置法などが発令されました。例年行なわれていた行事ができなくなってしまったこともありますし、例会を休会することもありまして、時の会長さんも思ったような活動ができなかったことと思います。今年度、赤坂年度において、このように55周年記念が盛大に行われるということを本当に嬉しく感じております。そして、この55周年記念例会が赤坂年度にとって思い出に残る、記憶に残る行事になれば幸いです。

最後になりますが、55周年をこのように企画していただきました実行委員の皆さんに感謝を申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。



物故会員への黙祷

幹事 津久井大雄さん

改めて、皆さんこんばんは。本日は寄居ロータリークラブ55周年記念式典に川本ロータリークラブの鈴木会長、飯塚幹事さん、そして、会員の皆さん、ご家族の皆さん、ご参加をいただき本当にありがとうございます。



それでは、ここで物故会員に対して黙祷を捧げます。

前回の50周年記念式典以降、ご逝去されました会員を謹んでご紹介申し上げます。

高田和久会員。寄居ロータリークラブ1986年7月2日入会。在籍34年。2021年6月29日ご逝去。享年89歳。クラブ会長1994年歴任。

皆様ご起立お願いいたします。黙祷 お直りください。ご着席ください。ありがとうございました。

山口正彦さん

5年間の間にお亡くなりになられた会員がお一人だけというのも幸いだったと思います。これからも、皆さん、ぜひ元気に楽しんでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

お客様のご紹介

会長 赤坂匠康さん

本日、ご臨席賜りましたお客様をご紹介させていただきます。

川本ロータリークラブ会長 鈴木一彦さん。続きまして、同じく川本ロータリークラブ幹事 飯塚昇さん。お二方をお招きして、皆さんで楽しい時間を過ごしてまいりたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

実行委員長挨拶

吉野泰久さん

実行委員長の吉野と申します。



今回の式典については懇親会、あるいは祝賀会のほうに大半の時間を割きたいということで、短くしております。ですから、私も話し始めると挨拶は上手なのですが、本日は60秒用の原稿を用意しましたので、これでピッタリ終わると思いますので、読ませていただきます。

親愛なる川本クラブの会長、幹事様、ようこそ。それから、大変多くの奥様方にご参加いただきましてありがとうございます。特に、会員の皆様におかれましては全員出席という快挙でございます。通常の例会では見られないような出席率でございます。これは、どんなにかこの55周年記念をともに祝い、そして、祝賀会を楽しく過ごしたいという気持ちの表れだと思います。

周年記念事業というのは、その当該年度の最大事業であります。そして、実行委員会という組織は、それをバックアップすることにあります。ですから、実行委員会は黒子でございます。言い換えれば、赤坂年度最大のイベントである55周年記念事業が、我が実行委員会が全会員と力を合わせて応援することにあります。コロナ禍ということで、規模は大変小さくなりましたが、中身は盛大にということで頑張っております。式典は地味に短く、祝賀会は派手に楽しくということで、準備がここに整いました。ぜひ皆さん、楽しんでお帰りください。

本日は、お集まりいただき本当にありがとうございます。

寄居ロータリークラブ会長挨拶

赤坂匠康さん

皆さん、改めまして寄居ロータリークラブ創立55周年おめでとうございます。本日は、ご多忙中にもかかわらず、ご参加いただきましてまことにありがとうございます。思えば、皆様に支えていただきながら今年度55周年ということで、そんな節目の年に会長という大役を務めさせていただき本当に感謝しております。ありがとうございます。



また、先ほどご挨拶いただきました吉野実行委員長のリーダーシップと、実行委員会の皆様の強力なサポート、そして、本日も臨席賜りました川本ロータリークラブの鈴木会長、飯塚幹事のロータリアンとしての厚い友情、そして、いつも美味しい料理と温かく居心地の良い雰囲気を提供してくださっている園さん、皆様のご協力をいただいて、本日の記念例会が開催できますこと、この場をお借りしまして、改めて厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

本日は皆さんのお席に今までの寄居ロータリークラブ

の歴史をまとめた記念誌が置いてありますが、それをぜひご覧になっていただきたいと思います。先人たちがロータリーの精神のもとに積み上げてきた歴史の結晶だと思っております。本日は55周年という一つの寄居ロータリークラブの過程にすぎませんが、寄居ロータリークラブがこれからもずっと歴史と伝統を受け継いで、未来にバトンを渡していけるように、今、この瞬間を大切に、皆さんとともに寄り添いながら温故知新をテーマに進めていきたいと思っております。

時間の許す限り皆さんとともに楽しい時間を過ごしてまいりたいと思っております。55周年、本当におめでとうございます。そして、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。本日も臨席いただきました皆様のご多幸とご健勝、そして寄居ロータリークラブのますますの繁栄を祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

川本ロータリークラブ会長挨拶

鈴木一彦さん

皆さん、こんばんは。本日、55周年にあたり川本クラブから2名参加させていただきました。本当にありが



とうございます。川本ロータリークラブは寄居クラブが20周年のときに、寄居からお誘いを受けて、川本ロータリークラブができました。寄居の皆さんがいなければ川本はなかったのです。本当に感謝しております。けれども、現在、川本クラブは瀕死の重傷を負っております。

どうにか人数を増やして、寄居クラブに追従できるような川本ロータリーを次の会長である飯塚さんがやってくれると思います。そして、寄居ロータリーと一緒に頑張って、これから川本クラブもやると思いますので、ひとつご指導よろしくお願ひいたします。

これからも、いろいろとご指導お願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。

記念事業発表 記念事業委員長

鈴木光則さん

皆さん、こんばんは。記念事業委員会を代表して、寄居ロータリークラブ55周年記念事業を発表させていただきます。



寄居ロータリークラブ55周年記念事業として四つの事業を行ないます。一、ロータリー財団補助金を利用して、寄居町の小中学校7校に「安全啓もう看板」100枚を製作し、寄居町へ寄贈いたします。

二、寄居ロータリークラブ55周年祝宴で行なうチャリティーオークション等の収益を全額寄居町へ寄付いたします。

三、寄居ロータリークラブ公式ホームページを開設いた

します。

四、55周年記念品として寄居ロータリークラブ会員に刺し子のポーチ、会員婦人にはスカーフを贈らせていただきます。記念品はいずれも吉田昌弘会員の「きぬのいえ」特製の品物です。ポーチには、会員それぞれのイニシャルが刺繍されております。また、スカーフは寄居の銘木「氏邦桜」をイメージして一本一本それぞれ染め上げた世界に一つのオリジナルスカーフとなっております。

以上、四つを記念事業とします。ありがとうございました。

閉会の挨拶 副実行委員長

清水浩一さん

ご紹介にあずかりました副実行委員長の清水でございます。本日は寄居ロータリークラブ創立55周年記念式



典に多数お集まりいただきましてありがとうございます。重ね重ねのご挨拶の中で、ご婦人のお礼を皆さん申し上げていて、さぞかしいつも尻にひかれているのだろうとよくわかるのですが、私も例会が始まる前に家内を迎えに行っていました。よく察していただきたいと思ひます。

そして、そのご婦人方も多数ご参加をいただき、花を添えていただきましてありがとうございます。さらには先ほど来、ご挨拶をいただきました川本ロータリークラブの鈴木会長、飯塚幹事、ようこそいらっしゃいました。ありがとうございます。

実行委員長がお話していたのですが、一つだけ付け加えさせていただきたい事があります。実行委員会では、派手にやろうかという話もあったのですが、55という通過点でもあり、また、コロナ禍ということで、地元でこぢんまりとやろうということでこういった企画になりました。ということ踏まえて、今日は参加していただきたいと思ひます。

そして、この式典が終わりましたら、引き続きこの場所で祝宴がございます。先ほど実行委員長からありましたように、我々実行委員のほうでできる限りの知恵を絞って、盛大になるように企画したものがございます。どうぞ、賑やかに盛大に盛り上げていただけたら幸いです。

最後になりますが、寄居ロータリークラブのますますの発展、また、川本ロータリークラブのますますの発展、そして、本日ご列席の皆様のご健勝とご健康を祈念いたしまして、閉会とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

山口正彦さん

点鐘の前に、少しだけお時間をいただきまして、お心遣い、お祝いをたくさんいただいておりますので、発表させていただきます。

まず、本日のお客様 川本ロータリークラブ会長 鈴木一彦様よりいただきました。

同じく川本ロータリークラブ幹事 飯塚昇様よりいただきました。

そして、本日は残念ながらお見えになられませんでした。が、名誉会員の荻野旺様、津久井幹雄様からいただいております。

そして、本日、株式会社 WEB スタンドのスタッフの方が写真を撮ってくれておりますが、社長様よりお祝いをいただきました。ありがとうございます。

本来ですとニコニコボックスというのがありまして、本日もたくさんいただいているのですが、ここで読み上げていると祝宴の時間がなくなってしまいますので、お客様からいただいた分だけご紹介をさせていただきます。川本ロータリークラブ 鈴木一彦会長

創立55周年おめでとうでございます。川本もあとに続きたいな…

川本ロータリークラブ 飯塚昇幹事

創立55周年誠におめでとうでございます。本日は喜びいっぱい参加させていただきます。人生とともにある会ですね。素晴らしいです。重ねておめでとうでございます。

株式会社WEB スタンド 津久井健一様

55周年おめでとうでございます。また、ホームページ制作のご依頼ありがとうございます。精一杯、情報発信のお手伝いをさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

山口正彦さん

津久井健一さんにおかれましては、おそらく来年は毎週ニコニコを入れるような立場になっていただけないかと思ひ、期待しております。ぜひお待ちしております。よろしくお願ひいたします。

それと、最後にニコニコボックス委員長の松本則之さんよりお願ひです。本日いただいたものは全部、次回の例会で発表させていただきます。大変いただいているかたが多いということで、まだまだ変更や追加がききます。次回の例会までお待ちしておりますということを強く言ってくださいとお願ひされましたので、お伝えいたします。

以上です。ありがとうございました。

閉会の点鐘

会長 赤坂匠康さん



これから閉会の点鐘をさせていただくのですが、その前に一言。ホームページの打ち合わせのときに、津久井健一さんといろいろとお話しをする中で、今回は仕事として行くのだからお願ひしますよといわれていたのですが、僕の制御のきかないところでリクルートのお話しが出てしま

いまして、大変申しわけございません。ですが、津久井さんが仲間になってくれる日を皆さんが待っておりますので、ご検討よろしく申し上げます。

それと、これから楽しい宴席とアトラクションがありますので期待をしていただいて、皆さん、懐パンパンでお見えになっていると思いますので、懐を軽くして帰っていただけるようによろしくお願ひしたいと思います。

それでは点鐘いたします。

祝宴 司会 大久保知明さん

それでは、ただいまよりお楽しみ祝宴に入りたいと思います。私、祝宴の司会進行をやらさせていただきます大久保知明と申します。よろしくお願ひいたします。

それでは、祝宴に先立ちまして開会のご挨拶を荻野真仁副実行委員長よりお願ひいたします。

副実行委員長挨拶

荻野真仁さん



皆さん、こんばんは。スピーディーにやったはずなのですが、だいぶお待たせしてしまい申しわけございません。時節柄、はじけてしまうと大変なので、ほどほどにお願ひして、楽しく過ごしていければと思いますので、最後までよろしくお願ひいたします。ただいまより祝宴を開宴いたします。よろしくお願ひいたします。

大久保知明さん

乾杯に移る前にセレモニーをしたいと思います。これは赤坂会長がぜひにということで本日お祝いをさせていただきます。今月、吉田正博夫妻が銀婚式を迎えました。今まではこういうことは例がなく、本来なら会員にお祝いをお渡しますが、赤坂会長からぜひにということで奥様にお渡ししたいと思います。吉田正博令夫人、前の方にお願ひいたします。

吉田正博さんのエスコートにより、令夫人壇上へ。

赤坂匠康会長

吉田正博さん、令夫人、25周年銀婚式おめでとうございます。

吉田明美さんご挨拶

本日はこのような会にお招きいただきまして、大変ありがとうございます。私は新参者ですが、これからよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。

吉田正博さんご挨拶

皆さん、本日はこのような55周年をお祝いする席で

私たちの銀婚式のお祝いをいただきまして、まことにありがとうございます。うちはかかあ天下なものですから、私はいつも家内にくっついているわけですが、先輩方のお手本を見ながら、末永く楽しく過ごしていければと思っています。本日は大変ありがとうございました。

大久保知明さん

それでは、ここで乾杯をしたいと思います。乾杯の音頭は寄居ロータリークラブで一番若い人にお願ひしたいと思います。というのは、次は60周年記念式典が控えています。それまでに私などはもういないかもしれません。ですから、これからクラブを背負ってたつ人を代表して高倉隆綱さんに乾杯の音頭をお願ひしたいと思います。高倉さんは、昨年ロータリーに入会しまして、現在29歳です。若いですね。高倉さん、乾杯をお願ひいたします。

乾杯の音頭

高倉隆綱さん

ご指名をいただきました高倉です。人生初の乾杯の音頭が、このような55周年記念式典でやらさせていただきます、とても光栄に思います。私は、とても緊張するタイプで、今、修行に行く前日ぐらい緊張しています。



それでは、皆様グラスを持ち、お立ちいただいてよろしいでしょうか。

それでは、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げまして元気に乾杯させていただきます。

乾杯！

アトラクション じゃんけん大会 進行 清水浩一さん

優勝は豊田康業さんでした。おめでとうございます。



アトラクション オークション

進行 松本則之さん、松本幸男さん

※ 鈴木光則さんより、本日のじゃんけん大会、オークションによる収益の発表がありました。
収益は全額寄居町に寄付されます。

大久保知明さん

ありがとうございます。私は10万円ちよっとくらいと予想していました。オークションで誰も手を挙げなかったら、責任を取って全部引き取ろうと思っていましたが、そんな必要はなくなりました。ありがとうございました。

それでは、懇親会の内容はこれですべて終了となります。しばしご歓談いただきまして、メに入らせていただきます。

- 第一のメ 赤坂匠康会長 令夫人 赤坂陽子さん
- 第二のメ 川本ロータリークラブ 鈴木一彦会長
- 第三のメ ロータリー歴31年 荻野幸一さん

第一のメ 赤坂陽子さん

赤坂と申します。本日はこのような楽しい宴にご招待いただきましてありがとうございました。日ごろのスト



レスを忘れて楽しく過ごすことができました。主人が会長という大変な役を仰せつかりまして、今日まで無事に務めることができて、これもひとえに皆様の温かいご支援のおかげだと思っております。ありがとうございます。

では、第一のメをさせていただきます。皆様ご起立をお願いします。

第二のメ 鈴木一彦さん

それでは、寄居ロータリークラブ創立55周年記念の最後に第二のメということで、メさせていただきます。本



日は川本から二人参加させていただきまして、こんなに楽しい会ができた、本当に嬉しいな、羨ましいなと思っております。

それでは、第二のメをよろしくご相伴のほどお願いいたします。私は川本でございますが、寄居メで締めさせていただきます。

第三のメ 荻野幸一さん

本日は寄居ロータリークラブ55周年記念式典が盛大にできまして、本当におめでとうございます。とても嬉し



く思います。私は9月1日でロータリー歴が37年になります。ですから、寄居ロータリークラブが20周年くらいからずっと記念式典ではお世話になっています。今年の式典が、これから一番の思い出になっていくと感じております。これまでは伊香保の小暮旅館で式典をやっ

てまいりましたが、今回は地元で開催し、大勢の皆さんが参加くださり、本当の記念式典だとつくづく感じております。私は、これから何年在籍できるかわかりませんが、忘れられない式典になると思います。実行委員の皆さん、本当にありがとうございました。そして、会員の人数が増えて、本当に嬉しく思います。これからまた60周年、70周年と寄居ロータリークラブが盛大になっていっていただければ願っております。

それでは、ご列席の皆様方のご健康、ご多幸、それから寄居ロータリークラブと川本ロータリークラブの発展を祈念いたしまして、大きく寄居メでお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

閉会の言葉

記念誌委員長 安齋治一郎さん

皆さん、お疲れさまでした。皆様のおかげで55周年記念例会を盛大にやることができました。吉野実行委員長を筆頭に何回も打ち合わせさせていただきました。できれば、吉野委員長に盛大な拍手をお願いいたします。ありがとうございました。



この場に酒井さんがいなかったことが寂しいですが、元気になりましたら、また酒井さんに出席していただいて、皆で例会ができればと思います。そして、若い世代も増えてまいりましたので、寄居ロータリーは現在32名ですが、50名を目指して、次年度、津久井年度には会員増強をしていただいて、盛大になればと思います。

以上を持ちまして、寄居ロータリークラブ創立55周年祝賀会を閉式といたします。皆さん、ありがとうございました。

国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2022.5.25 会 長 赤坂 匠康 会報・雑誌委員長 清水 浩一
No. 16 幹 事 津久井大雄 副委員長 佐橋 正行

・例会日時 毎週(水)12:30~13:30
・例会場 ホテルシティプラザ寄居
・住 所 寄居町大字桜沢888-1
・TEL 048(581)2468
・FAX 048(581)3530







